



盛岡広域エリア
SDGs教育旅行
プログラム

SDGs

盛岡広域エリアで学ぶSDGs ～4つのテーマからなるSDGsプログラム～

〈盛岡広域エリア〉は、盛岡市を含む県央エリアと隣接する県北エリア・沿岸エリアの5市8町2村で構成される地域。山、海、大地、川と豊かな自然がもたらす恵まれた地域資源や古くから受け継がれてきた文化を大切に継承しつつ、新しいものの良さを柔軟に受け入れてきた営みの数々。また、東日本大震災からの復興への取り組みをはじめ、地域住民が主体的にまちづくりに参加するなどSDGsが掲げる持続可能な社会の実現に通じる取り組みをこの地域で見ることができます。本誌では、これらを「自然の恵みを生かす」「持続可能な産業」「持続可能な生き方」「防災と復興まちづくり」と4つのテーマに分けてSDGsプログラムとして紹介しております。SDGsを達成する為に必要な自然や環境などの地域特性の生かし方、経済活動などの折り合いの付け方等について、それらを体现している取り組みに触れたり体験することで【自分ごと化】して学びを深め、自分たちの住む地域の未来について考えを巡らせられるよう構成しております。また、生徒が自主的に探究学習を進めることができるよう【盛岡広域エリア探究学習ノート】をご用意しております。本誌と合わせてご活用下さい。



盛岡広域エリアの学び

本誌を活用

【盛岡広域エリア探究学習ノート】を活用



SDGs教育旅行
プログラムを選ぶ



探究したい!!



事前学習
調べる



現地学習
プログラムを体験



事後学習
まとめる

11のSDGs探究学習プログラムと**16**のエリア別SDGsプログラムを
人数に合わせて選択可能です!

全体

学年全体で研修が可能なプログラムです。150名以上
受入可能な場合を全体で表記しております。

選択

テーマ別研修など、児童・生徒が選択する場合にご利用下さい。
10名以上受入が可能なプログラムです。

班別
研修

班別研修に最適なプログラムです。



【盛岡広域エリア探究学習ノート】は、
盛岡広域振興局ホームページで
公開しております。

- ① 盛岡まち歩き探究 編
- ② 広域エリアSDGs探究 編
- ③ 上記2つの合冊 編

もりおか広域 探究学習ノート

検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの取り組みについて

SDG(s エスディーゼーズ)は、「誰一人取り残さない」という高い理念のもと、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されており、全ての国連加盟国が取り組んでいます。SDGsの17の目標は、それぞれが関連し合っていることから、一つの問題解決が別の問題解決の障害になる場合があるため、必ずしも問題の解決を目指すのではなく、バランスを取りながら最適解を見つけていく姿勢が大切とされています。

盛岡広域エリアは、自然豊かな県北・県央・沿岸の3エリア



県北エリア

山と田園風景に囲まれたエリア。縄文時代の遺跡が点在し、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一戸町の御所野遺跡が有名。

盛岡市からの
バス移動所要時間 二戸市まで**70分**



県央エリア

歴史的な城下町の風情と現代の建物が調和する魅力ある街並みが特徴の盛岡市を中心に、小岩井農場、安比高原など全国的に有名な施設がある地域。

盛岡市からの
バス移動所要時間 八幡平市まで**50分**



沿岸エリア

三陸復興国立公園は、豪壮な大断崖と優美なリアス海岸が特徴。龍泉洞などのダイナミックな自然の造形も魅力。各地域で、防災学習に力をいれており、伝承活動も行っています。

盛岡市からの
バス移動所要時間 宮古市まで**90分**
岩泉町まで**110分**

SDGs探究学習プログラム 目次

探究NO	市町村名	プログラム名	ページ
探究1	八幡平市	八幡平地熱気染色 ～大地からのメッセージ～	P5
探究2	八幡平市	八幡平スマートファーム ～自然エネルギー×最新のIoT技術で雪国でバジル栽培!?～	P6
探究3	雫石町	農場めぐりバスツアー「SDGs自己探究」コース ～小岩井農場でSDGsを探してみよう!～	P7
探究4	一戸町	世界遺産 御所野遺跡 ～縄文に学び、未来について考える～	P8
探究5	八幡平市・二戸市	安比川流域の漆文化にふれる ～縄文からつむがれてきた人と漆のつながり～	P9
探究6	盛岡市	まち歩きで学ぶ盛岡の水 ～大切に使われ今に残る共同井戸～	P10
探究7	久慈市～大船渡市	震災学習列車 ～今だからこそみえるものがある、今だからこそ学べるものがある～	P11
探究8	山田町	がんばる商店主による震災語り部 ～新生やまだ商店街協同組合の取り組みに学ぶ～	P12
探究9	田野畑村	机浜番屋群22棟の木造番屋は何を伝えるのか? ～かつての漁業の拠点はいまや体験観光の拠点に～	P13
探究10	宮古市	学ぶ防災 津波遺構たろう 観光ホテル ～もの言わぬ語り部として～	P14
探究11	普代村	村を守った奇跡の水門』 ～元村長は答えのない問いにどう向き合った?～	P15



盛岡市を含む県央エリアと隣接する
県北・沿岸の5市8町2村のプログラムを
紹介



エリア別SDGsプログラム 目次

エリア1	県北エリア 一戸町	一戸町観光天文台(日中プログラム) ～星と風の高原で学ぶ星空環境とSDGs～	P16
エリア2	県北エリア 一戸町	一戸町観光天文台(夜間プログラム) ～見上げて学ぶ、星空環境と惑星地球～	P16
エリア3	県央エリア 盛岡市	盛岡手づくり村 ～天然藍染 手作り 教室～	P17
エリア4	県央エリア 盛岡市	盛岡さんさ踊り体験	P17
エリア5	県央エリア 盛岡市	盛岡ふるさとガイドとまち歩き	P18
エリア6	県央エリア 盛岡市	まち歩きで盛岡の偉人に学ぶ	P18
エリア7	県央エリア 盛岡市	まち歩きで学ぶ盛岡の文化財	P19
エリア8	県央エリア 盛岡市	もりおか町家物語館 ～歴史的建造物の保存・利活用について考える～	P19
エリア9	県央エリア 盛岡市	防災講演と避難所運営ゲーム ～学校が避難所になったら～	P20
エリア10	県央エリア 盛岡市	盛岡のキラリと光るものづくり講話 ～盛岡の伝統を受け継ぐ職人から学ぶ～	P20
エリア11	県央エリア 岩手町	プロから持続可能な農業を学ぶ	P21
エリア12	県央エリア 滝沢市	鞍掛山動植物観察ハイキング	P21
エリア13	沿岸エリア 岩泉町	岩泉ホールディングス株式会社 ～岩泉ホールディングスで学ぶSDGs～	P22
エリア14	沿岸エリア 宮古市	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム ～Made in 地元! 堅穴住居はすべて自然素材!～	P22
エリア15	沿岸エリア 田野畑村	NPO法人体験村・たのはたネットワーク ～サップ船アドベンチャーズ～	P23
エリア16	沿岸エリア 山田町	やまだワンダフル体験ビューロー ～マリンツーリズム山田～	P23

盛岡広域エリアSDGs教育旅行モデルコース

〈盛岡広域エリア探究学習ノート〉と連動した学びを提供



盛岡で「輝き」を見つけよう！

班別研修で訪れる盛岡では、目に見える美しさやおもしろさだけではなく、目に見えない物事のさらに奥深くや裏側に隠れている魅力や背景を探しながらまち歩きを楽しもう。盛岡広域エリア探究学習ノートでは、その隠れた魅力を「輝き」と表現しています。

広域エリアでSDGsを体験して、探究につなげよう

盛岡市と隣接する広域エリアでは、4つのテーマで11のSDGs探究学習プログラムをご用意しています。実際に体験することで、SDGsの取り組みを自分ごととして捉え、自分の住む地域の未来について考えます。

1泊2日

盛岡広域エリアで学ぶ持続可能な社会①

〈盛岡広域エリア探究学習ノート〉対応

1日目

盛岡駅

盛岡手づくり村体験学習

県央エリアプログラム

盛岡市内班別自主研修
(盛岡まち歩き・昼食)

盛岡三大麺！
夕食 わんこそば体験

盛岡(泊)

2日目

宿泊地

小岩井農場めぐりバスツアー(昼食・ジンギスカン)

持続可能な産業

盛岡駅

2泊3日

盛岡広域エリアSDGsプログラムと世界遺産平泉

〈盛岡広域エリア探究学習ノート〉対応

1日目

盛岡駅

盛岡市内班別自主研修盛岡まち歩き・昼食

雫石民泊(泊)

2日目

宿泊地

世界遺産毛越寺又は
平泉世界遺産ガイドセンター

世界遺産中尊寺(昼食)もち料理

国の史蹟名勝天然記念物
猊鼻溪舟下り

盛岡(泊)

3日目

宿泊地

盛岡手づくり村体験学習

県央エリアプログラム

盛岡三大麺！
昼食 わんこそば体験

盛岡駅

2泊3日

盛岡広域エリアで学ぶ持続可能な社会②

〈盛岡広域エリア探究学習ノート〉対応

1日目

盛岡駅

震災学習列車久慈駅～田野畑駅

防災と復興まちづくり

班別・選択

- ①机浜番屋群体験学習
- ②学ぶ防災津波震災遺構たろう観光ホテル
- ③村を守っぞ奇跡の水門
- ④サッパ船アドベンチャーズ

防災と復興まちづくり

沿岸エリアプログラム

盛岡(泊)

2日目

宿泊地

小岩井農場めぐりバスツアー

持続可能な産業

盛岡市内班別自主研修盛岡まち歩き・昼食

盛岡(泊)

3日目

宿泊地

班別・選択

- ①八幡平地熱蒸気染色
- ②八幡平スマートファーム

自然の恵みを生かす

昼食

盛岡駅



八幡平地熱蒸気染色 ～大地からのメッセージ～

選択
10～30名

自然の恵みを
生かす



地球の力、地熱蒸気を活用して作る芸術「八幡平地熱蒸気染色」。

蒸気に含まれる硫黄の成分で一部が脱色され、美しい色あいが生まれる染色体験は、
この地でしか出来ない正にオンリーワンの体験です。

プログラム内容

世界有数の火山国である日本。地熱資源量はアメリカ・インドネシアに次ぐ世界第3位。八幡平市の松尾八幡平地域は、南に岩手山、西に八幡平の活火山があり1966年に日本で最初の地熱発電所である松川地熱発電所が開設された地域です。蒸気を活用して作った温水は、八幡平温泉郷の温泉用、給湯用をはじめとして様々な産業に活用されています。

なかでも、「GEOCOLOR(ジオカラー)」と名付けられた地熱蒸気を直接利用した染色技法は、世界でも類をみない技法で世界でここだけの体験です。美しいグラデーションを織りなす染物体験は、言葉だけではない感性全体で自然と対話することが可能です。本プログラムでは、実際に地熱蒸気を活用してミニスカーフに染色する体験を通じて、地球の不思議を体感しながら、地域資源の活用方法について考えます。



体験工房 外観



着色作業



釜入れ



完成イメージ

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール4(ターゲット4.7)・・・再生エネルギーの活用方を通じて、持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする。
- ゴール7(ターゲット7.2)・・・地熱発電の利活用を推進することにより、地域資源を活かした再生可能エネルギーの割合を増やす。
- ゴール8(ターゲット8.9)・・・地熱を活用した温泉をはじめとする産業振興により雇用を創出し、持続可能な観光業を促進する。

事前学習

- ◎ 再生エネルギーの種類や特性、メリット・デメリットについて調べてみよう。
- ◎ 自分の住む地域において、活用されている再生エネルギーについて調べてみよう。

現地学習

- ◎ 地熱、地熱染めについて(10分)
 - ◎ ミニスカーフ染色体験(80分)
- ※地熱が生むエネルギーへの理解をより深めるために、松川地熱館の見学をおすすめします。
(バスで約5分、見学所要時間40分)

事後学習

- ◎ 完成品を持ち寄り、自分自身・仲間の作品制作の意図や工夫した点等について、グループで話しあってみよう。
- ◎ 2050年カーボンニュートラルに向けて、自分達の住む地域の再生可能エネルギー比率を、どうすれば高めることができるかグループで話しあいまとめてみよう。

受入概要

受入人数	10名～30名
実施時期	通年(土・日は要相談)
受入時間	9:00～17:00(要相談)
所要時間	90分～120分(調整可能)
料金	2,750円(ミニスカーフ)他
バス駐車場	有り・無料
備考	完成品の受け渡し方法は別途相談。 (基本的に、お土産としてお持ち帰り頂けます。)

問合せ先

株式会社地熱染色研究所

〈担当〉鈴木 絵美

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木
松川国有林559林班フ小班
TEL.0195-78-2451 FAX.0195-78-3240
Mail:geocolor.hachimantai@gmail.com

〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉不定休



持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア

自然の恵みを
生かす



八幡平スマートファーム

～自然エネルギー×最新のIoT技術で雪国でミジル栽培!?～



地域資源である地熱と最新の栽培技術、IoT(※)制御システムを融合することにより、農業未経験者でも従事可能な新たな農業スタイルを確立。高齢化による農業の担い手不足の解消、地域の雇用創出と好循環が生まれています。

(※) あらゆるモノをインターネット(あるいはネットワーク)に接続する技術。



持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア

プログラム内容

松川地熱発電所から供給される熱水(温泉)を暖房に活用したビニールハウス(熱水ハウス)。高齢化や担い手不足により放棄された熱水ハウスを再生し、栽培の適温が25度前後のバジルを、厳冬期には氷点下20度にも達するこの地で一年を通して栽培しています。収穫量を増やし且つ腰をかがめることなく作業できるように両面縦型水耕栽培による独自のIoT制御システムを開発。更に、温泉湯量調整、温度管理、肥料濃度管理、空調管理をリモートで制御・管理することにより、誰でもできる農業を実現。本プログラムでは、循環型社会モデルの見学・八幡平スマートファーム産の温泉バジル収穫体験を通して、地域資源の有効活用やデジタル技術を活用した課題解決について考えます。



再生した熱水ハウス



ハウス内IoT制御システムで管理



作業が楽な
縦型水耕栽培システム



八幡平スマートファーム産
温泉バジル入りソーセージ

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール2(ターゲット 2.4)・・・IoT技術の導入により持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する。
- ゴール4(ターゲット 4.7)・・・IoT技術の活用方法を学ぶことにより、持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする。
- ゴール7(ターゲット 7.2)・・・地熱発電の利活用を推進することにより、地域資源を活かした再生可能エネルギーの割合を増やす。



事前学習

- 地熱(発電)について調べてみよう。
- 日本の食料自給率について調べてみよう。
- 就農者数、農地・耕作面積の推移について調べてみよう。



現地学習

- 八幡平スマートファームの見学(約45分)
 - バジル収穫体験(約15分)
- ※地熱が生むエネルギーへの理解をより深めるために、松川地熱館の見学をおすすめします。
(バスで約20分、見学所要時間40分)



事後学習

- デジタル技術を活用することにより農業のどのような課題が解決できそうかグループで話し合いまとめてみよう。
- どうすれば就農者や農地・耕作面積を増やすことができるかグループで話し合いまとめてみよう。
- 地熱の更なる有効活用についてグループで話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	10～100名 要相談)
実施時期	通年(年末年始を除く)
受入時間	9:00～16:00
所要時間	60分
料金	見学料金(要相談※)。バジル収穫体験,100円
バス駐車場	有り・無料
備考	収穫したバジルは持ち帰り可。 (※)見学料金参考10名様(要相談)の場合@1,650円

問合せ先

株式会社MOVIMAS

〈担当〉小宮
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2
鉄鋼ビルディング4階
TEL.050-3613-8700

【お問合せ】
<https://movimas.jp/contact/>

〈営業時間〉9:30～17:30
〈休業日〉土日祝



[SDGs 該当番号]



農場めぐりバスツアー 「SDGs 自己探究」コース ～小岩井農場でSDGsを探してみよう！～

全体
バス2台



小岩井農場の風景にはわたしたちが130年間、持続、発展する中で積み上げられた、たくさんの物語が隠れています。それはまるでSDGsを先取りしたかのようで、さまざまな気づきがいっぱい。たくさんのエピソードのどれかに着目し、それを自分なりに読み解いて、再構築する。そんな探究学習にはおってつけです。事後学習として、自己探究の成果として新聞づくりなども好評です。

プログラム内容

100年以上前に建てられた牛舎を使い続け、120年以上のあいだ乳を搾り続ける小岩井農場。普段は非公開の生産現場や日本唯一の国指定重要文化財をバス毎にガイドがご案内します。岩手山の麓に広がる大きな小岩井農場で、どんな仕事とどんな取り組みをしているか。SDGsにつながるヒントを参考に「なぜ」と「なるほど」を、探してみよう！持続可能な未来づくりのヒントを、自ら発見する機会としてご活用ください。



小岩井農場



バスにガイドが同乗し
ご案内



バイオマス発電施設



上丸牛舎群

SDGsにつながるヒント

- 【01】 森と牛を育みエネルギーをつくる ～不毛の原野から緑の大地へ。これからも続いていく、農場の営み。
- 【02】 丁寧につかう 大切につかう ～100年前に未来を見据えた牛舎はいまも現役、国の重要文化財。
- 【03】 安全でおいしい牛乳をみんなに 先祖代々、農場生まれの牛たちは農場でとれたエサで育つ。

事前学習

探究学習テーマに合わせて、設定ください。

〈施設で対応できること〉

- youtube 動画の提供

現地学習

◎以下のルートでご案内します。

- ①バス毎に農場ガイドが同乗し出発
- ②四階倉庫国指定重要文化財)
- ③農場立小学校跡
- ④鶴ヶ台牛舎
- ⑤バイオマス発電施設
- ⑥上丸牛舎群

事後学習

- ◎ 探究学習テーマに合わせて、設定ください。
- ◎ 自己探究の成果として新聞を作ってみよう。

受入概要

受入人数	バス2台まで
実施時期	4月～11月
受入時間	9:00～15:00
所要時間	60分
料金	バス1台あたり20,000円 (入場料別途要)
バス駐車場	有り・無料
備考	バス毎ガイド1名乗車

問合せ先

小岩井農場まきば園

〈担当〉曲下 健太郎

〒020-0507 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1
TEL.019-692-4321 FAX.019-692-0303

Mail:eco@koiwai.co.jp

〈営業時間〉9:00～17:00(グリーンシーズン)

冬季営業時間(11月下旬～4月中旬)はお問合せください。

〈休業日〉年中無休



自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北リ

県央リ

沿屋リ



世界遺産 御所野遺跡

～縄文に学び、未来について考える～



世界遺産 御所野遺跡 博物館、縄文公園)を学芸員がご案内。全国で初めて確認された縄文時代の土屋根住居、遺跡博物館常設展示室では初となる縄文人の一年間の暮らしや周囲の自然を映し出すプロジェクションマッピング、二つの日本初で現代に蘇る縄文の景観と文化。縄文時代の屋根は茅葺きではなく、土屋根だった!?訪れた人の縄文集落の景観イメージが大きく変わるかもしれません。

プログラム内容

縄文人は、食料を安定的に確保する為に、山地、丘陵、河川付近などに集落を形成し、その土地の環境に応じて食料を確保する技術や道具類を発達させました。それは、弥生時代以降の農耕社会のように土地を大きく改変することなく、変化する気候に適応することで永続的な狩猟・漁労・採集の生活を維持した1万年以上も続いた平和な時代でした。

学芸員の説明やSDGsにつながるヒントを参考に博物館、縄文公園を見学することにより、縄文時代の人々の生活から現代に生きる私たちは、何を感じ・学び、そして未来にどうつなげていけば良いのかを考えるプログラムです。



縄文人が暮らしていた周辺環境を地図で確認してみよう



御所野遺跡に通じる過去への通路(きさきのつりはし)



時空を越え縄文時代を再現プロジェクションマッピング



復元された土屋根の堅穴建物

SDGsにつながるヒント

- 【01】 世界の文化遺産を守る 人類のかけがいのない宝を。これからも守っていく、施設管理。
- 【02】 文化遺産を活用して地域を元気に 開園20年で60万人以上が来園。経済効果に加え、地域の誇りへ。
- 【03】 定住生活、争いのない社会のために 博物館・縄文公園に残る縄文人から現代人へのメッセージ。

事前学習

- ◎ 縄文時代はどんな時代だったか調べてみよう
- ◎ 自分の住む地域の遺跡の時代、特徴について調べてみよう

現地学習

- ◎ 学芸員の解説で博物館、縄文公園内を見学90～120分)
※学芸員1名につき30名まで案内可能
- ※ご希望により、縄文時代に関する講話(例 縄文時代はどんな時代? 60分)やクルミ 樹皮のストラップづくり【お手軽版】(40分@500円)を組み入れることも可能。

事後学習

- ◎ 自然資源を活用した生活のあり方について、話し合いまとめてみよう
- ◎ なぜ縄文時代は1万年以上に渡り争いの無い平和な時代が続いたのか?話し合いまとめてみよう

受入概要

受入人数	10名～90名(要相談)
実施時期	通年
受入時間	9時～17時
所要時間	1時間30分～2時間
料金	無料
バス駐車場	有り・無料
備考	講話を選択の場合、費用は無料、会議室使用料500円～。

問合せ先

御所野縄文博物館



〒028-5316 岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野2
TEL.0195-32-2652
FAX.0195-32-2992
〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始



安比川流域の漆文化にふれる ～縄文からつむがれてきた人と漆のつながり～

選択
10～20名



国産漆の8割を生産する岩手県。安比川流域の上流・中流・下流で、それぞれの得意な技術を生かした漆器づくりの文化(漆の物語)は、日本遺産に認定されています。それは、この流域の豊富な森林資源があってこそ生まれた文化。国産漆は、日常を彩る器から国宝・重要文化財400余りの保存・修理にも活用されています。使えば使うほど光沢が出る、風合いが増す漆器の魅力を現地で体感いただきます。

プログラム内容

八幡平市から二戸市にかけての安比川流域は、原材料から製品までを一貫して生産可能な全国でも数少ない産地です。江戸時代から昭和中期頃まで漆器づくりの一大産地として繁栄しましたが、陶磁器やプラスチック製品の普及や安価な海外産漆の流通に伴い、次第に産業としては衰退していきます。現在は、国宝・重要文化財の保存・修理にかかせない国産漆の安定生産や漆掻き技術の伝承に向けて地域の人々が組合や保存会を設立し活動しております。本プログラムでは木地(器)づくりを支えた安比高原ブナ林の見学や漆を使った箸の絵付け体験を通じて、持続可能な地域の経済循環のあり様、伝統文化の継承や現代の生活にあった活用方法について考えます。



木地(器)づくりを支えた
安比高原ブナ林



漆文化を支えた安比川



職人による漆塗り



箸の絵付け体験
(安比塗)

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール11(ターゲット11.a)・・・漆文化の配信や現地訪問により都市部、都市周辺部及び農村間の良好なつながりを支援する。
- ゴール12(ターゲット12.2)・・・ブナや漆などの地域資源の持続可能な管理及び効率的な利用について考える。
- ゴール15(ターゲット15.4)・・・漆器づくりの文化を支えた安比高原の大自然から、自然とのかかわり方・山地生態系保全を学ぶ。



事前学習

- ◎ 自分の住む地域の日本遺産について調べてみよう。
- ◎ 漆器のイメージについて、身近な人たちにインタビューしてみよう。

〈施設で対応できること〉

- youtube動画の提供



現地学習

- ◎ 安比高原の大自然、ブナ二次林〔気候・環境・自然とのかかわりについて〕(1時間)
- ◎ 安比川流域の漆文化と継承について(移動バス車中で30分)
- ◎ 箸の絵付け体験(1時間)
- ◎ 移動(30分)



事後学習

- ◎ 自分の住む地域の日本遺産の新たな活用方法や、次の世代に継承するには、どうしたら良いかを話し合いまとめてみよう。
- ◎ 現代の生活にあった漆器の活用方法について、話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	10名以上20名要相談)
実施時期	5月～10月(要相談)
受入時間	9:00～17:00
所要時間	3時間(安比高原発着、移動時間含む)
料金	4,950円
バス駐車場	有り・無料
備考	汚れても良い格好でお越しください。 箸の完成品は約4週間後の発送となります。

イーハート ヴォ
安比高原自然学校



問合せ先

〈担当〉斎藤 文明

〒028-7306 岩手県八幡平市安比高原614-7
TEL.090-7322-4284 FAX.0195-73-6820
Mail: bunmei2323@gmail.com



班別
研修

まち歩きで学ぶ盛岡の水 ～大切に使われ今に残る 共同井戸～

水の郷「盛岡」・・・

盛岡は、北上川・中津川・雫石川の3本の川が流れる水の郷。市内中心部を流れる中津川は、慶長※の銘が刻まれた上の橋擬宝珠、城下町の風情、秋には鮭が遡上する豊かな自然があり、盛岡の豊かな水資源の象徴であり、多くの市民が愛する川。下の橋近くには、大正時代に宮沢賢治が使った共同井戸も現存しており、賢治清水は住民らが生活用水として今でも利用しています。また、北上川沿いの鉾屋町には、平成の名水百選に選出された2つの名水があります。

盛岡は、歩いて楽しむまち。盛岡駅を起終点とする1週5.7km、所要時間約35分の中心市街地循環バス「でんでんむし」を上手に活用して、水資源や川の流れを意識して盛岡のまちを班別自主研修で巡ってみましょう！ (※) 慶長14年(1609)8個、慶長16年(1611)10個の銘が刻まれています。



多くの市民が愛する中津川



下の橋近くの賢治清水



鉾屋町界隈と盛岡町家



大切に使われ今に残る
共同井戸「大慈清水」

行ってみよう 鉾屋町

鉾屋町界隈は、江戸から明治期に北上川舟運の起点、旧奥州街道・遠野・釜石街道・宮古街道の城下玄関口として栄えました。江戸時代の物資輸送は、海上や河川を移動する船が基本で、明治23年に盛岡駅が開業して鉄道の時代を迎えると、徐々にこの界隈も衰退していくことになります。

また、この界隈には江戸時代から地域住民の生活用水として利用されている「青龍水」と、地元の人がつづた用水組合が今も維持管理を行っている共同井戸「大慈清水」が、地域の宝として残っており今でも大切に使われています。

4層に分かれ上から順に一番井戸「飲料水」、二番井戸「米研ぎ用」、三番井戸「野菜・食器洗い場」、四番井戸「洗濯物すすぎ場」と使用する用途が決まっています。(このように資源を余すことなく段階的に活用することをカスケード利用と言います。) 利用する場合は、ルールを守り大切に使用しましょう。

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール6(ターゲット6.b)・・・
水と衛生の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。
- ゴール11(ターゲット11.4)・・・
歴史的建造物等の保護・保全。何を残すのか、なぜ残すのか、どう残すのかについて考える。
- ゴール17(ターゲット17.17)・・・
公的、官民、地域それぞれの役割と連携について考える。

事前学習

- ◎ 他の地域との違いなど、自分の住む地域の特徴について調べてみよう
- ◎ カスケード利用口などのようなものがあるか調べてみよう。

現地学習

- ◎ 水資源や川の流れを意識して盛岡のまちを巡ってみよう。
- ◎ 盛岡のまち歩きを通して、地元の方が大切にしていることや大切に守っていることを見つけてみよう。

事後学習

- ◎ 自分の住む地域の伝統文化や歴史的な建物について、何を残すか、なぜ残すのか、どう残すかグループでまとめて発表しよう。

鉾屋町までのアクセス

盛岡バスセンターから鉾屋町界隈まで徒歩約15分

盛岡バスセンターまでは
中心市街地循環バス「でんでんむし」で約12分



[SDGs 該当番号]



震災学習列車 ～今だからこそみえるものがある 今だからこそ学べるものがある～

全体
1ダイヤ
200名
まで



貸切列車に乗車し、災害時「いかに命を守り、いかに行動するか」を学ぶ、その名も震災学習列車。沿岸南部の大船渡市の盛駅～沿岸北部の久慈駅までの三陸沿岸部163kmを縦断する三陸鉄道だから、旅行行程に合わせて沿岸北部・中部・南部のそれぞれの地域で震災学習列車の運行が可能です。

プログラム内容

被災地復興のシンボルとして2014年4月に全線運行再開した三陸鉄道。普段通りに列車が運行することがいかに住民を勇気づけたことか。2019年台風19号の被害、利用者の減少などのローカル鉄道がかかえる課題。震災学習列車に乘車し、三陸鉄道社員又は沿線住民がパネルを使いながら「震災当時の様子」「今の被災地の現状・現在の問題」などを説明します。被災地の今を「見て」「聞いて」「感じて」、災害時にいかに命を守るか、そして自分達の地域の防災やローカル鉄道の役割について考えます。



津波で跡形も無くなった島越駅
(2011年4月)



リアス線開通を歓迎する住民
(2019年3月)



震災学習列車内で
ガイドをする様子

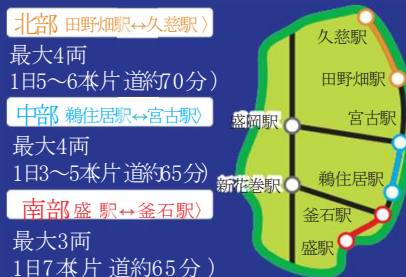


昔も今も変わらぬ三陸の海

SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット」

- ゴール4(ターゲット4.7)・・・震災学習列車内でのガイドの案内を通じて、持続可能な住民生活に必要な知識を習得する。
- ゴール8(ターゲット8.9)・・・三陸鉄道の運行により、雇用を創出するとともに、持続可能な観光業を促進する。
- ゴール9(ターゲット9.1)・・・三陸鉄道の運行により、すべての人々に安価で公平な交通機関を提供する。

運行ダイヤ(抜粋)



事前学習

- ◎ 自分達の住む地域のハザードマップを確認してみよう。
- ◎ 自分の住む地域と三陸鉄道の普通運賃を調べ比較してみよう。

現地学習

- ◎ 震災学習列車(貸切車両)に乗車し、被災地の今を見つめます。
- 三陸鉄道社員又は沿線住民が、車内で「震災当時の様子」「今の被災地の状況・現在の問題」などをパネルを使いながら説明します。

事後学習

- ◎ 自分達の住む地域で起こり得る災害、その災害で誰一人犠牲者を出さないためにどのようなことが必要か、話し合いまとめてみよう。
- ◎ 自分達の住む地域(周辺地域)のローカル鉄道について、今後のあり方について、グループで話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	最大200名(往復ダイヤ利用で400名)
実施時期	通年
受入時間	運行区間により異なる(要問合せ)
所要時間	約1時間15分
料金	1車両:50,300円/座席定員:50名
バス駐車場	有り・無料
備考	校章などでヘッドマークを制作し車内に掲示可能(料金別途)

問合せ先

三陸鉄道旅客営業部

〈担当〉千代川らん
TEL.0193-71-1170 FAX.0193-71-1200
E-mail: dantai@sanrikutetsudo.com
〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉土日祝



自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

まちづくり

防災と復興

県北リア

県央リア

沿岸リア



がんばる商店主による震災語り 部

～新生やまだ商店街協同組合の取り組みに学ぶ～



東日本大震災後の住民流出による人口減、商業・サービス業の廃業見込みという地域住民に漂う、この地で暮らすことに対する漠然とした不安。住民の笑顔と街に賑わいを取り戻したいという商店主の強い想いで、2013年に新生やまだ商店街協同組合は設立されました。その取り組みは、震災語り部や地域の主力産業である水産業と連携した体験型観光の受入など、今や商店街の枠を超えたものとなっています。

地域のコミュニティと経済活動の中核を担うがんばる商店主の取り組みを是非現地で体感下さい。

プログラム内容

過去に幾度となく大津波に遭遇してきた山田町。その度に集団で高台に移転するなどの対策を行ってききましたが、東日本大震災では町の人口の約4.3%にあたる825人の死者・行方不明者が出ました。震災からの復興に向けて山田町が取り組んだのは、山田湾の地形を生かした養殖業の復活、商業施設や公共施設、金融機関が集約されたコンパクトなまちづくり、そして観光による地域活性化です。山田町の中心地を商店主と歩きながら、防災、減災、まちづくり等について考えます。



山田町役場周辺の震災当時の様子
(2011年3月末)



新生やまだ商店街



商店街かわら版



震災語り部参加者の様子)

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール8(ターゲット 8.9)・・・雇用創出、にぎわい創出につながる持続可能な観光業を促進する。
- ゴール11(ターゲット 11.7)・・・誰にでもアクセスが容易な商業施設、公共施設、金融機関が集約されたコンパクトなまちづくり。
- ゴール17(ターゲット 17.17)・・・商店主を中心とした公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進する。



事前学習

- ◎ 自分達の住む地域のハザードマップを確認してみよう。
- ◎ 自分達が住むまちの人口構成、推移について調べてみよう。



現地学習

- ◎ がんばる商店主による震災語り部まち歩き(60～90分)
※商店主1名につき40名まで案内可能
※がんばる商店主とまちづくりに関するワークショップを開催することも可能です。(要相談)



事後学習

- ◎ 自分達の住む地域で起こり得る災害その災害で誰一人犠牲者を出さないためにどのようなことが必要か話し合いまとめてみよう。
- ◎ 自分達が親世代となる20年後、自分達の住む地域がどのような街だったら住みやすいかについて、話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	150名程度(要相談)
実施時期	通年
受入時間	9時～15時(スタート時間)
所要時間	60～90分
料金	ガイド(商店主)1名 3,500円
バス駐車場	有り・無料
備考	

問合せ先

やまだワンダフル 体験ビューロー



〈担当〉沼崎 真也

〒028-1311 岩手県下閉伊郡山田町大沢2-1-6
TEL.0193-65-7901 FAX.0193-65-7902

Mail: info@yamada-fc.org

〈営業時間〉8:30～17:00

〈休業日〉水曜日(当日対応は水曜日可)、年末年始

[SDGs 該当番号]



机浜番屋群22棟の木造番屋は 何を伝えるのか？

～かつての漁業の拠点はいまや体験観光の拠点に～



断崖の上に暮らす漁民が、浜での作業を少しでも楽に（効率的に）行えるように番屋という漁師小屋を設置し、漁の拠点として活用してきました。平成18年に 未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選に 選出された机浜番屋群は、東日本大震災の大津波により流失しましたが、多くの方の支援により、以前の面影を復元する形で再建され、現在は塩づくり体験や番屋漁師ガイド、番屋料理体験など各種体験観光の拠点となっています。

プログラム内容

塩づくり 番屋では、田野畑の海水を薪で煮詰めて作る番屋の塩づくり体験。食体験番屋では、田野畑の海で獲れた新鮮な海産物を調理し、地元のお母さんが地域ならではのおいしい食べ方を伝授する番屋料理体験。漁村の暮らしや生活の知恵を、地元漁師が案内する番屋群漁師ガイドなどの体験が可能。震災で失われた建物を復元するだけでなく観光という新たな価値を加え再始動した机浜番屋群から、時代に合った形の文化継承について考えます。



復元された机浜番屋群



番屋料理体験



番屋群漁師ガイド



6次化商品 番屋の塩

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール8（ターゲット 8.9）・・・ 番屋を活用した観光客の受入により、持続可能な観光業を促進する。
- ゴール11（ターゲット 11.4）・・・ 観光として活用することにより、漁村の原風景を未来に継承できるよう努める。

事前学習

- ◎ 自分達の住む地域の街並み、風景、お祭り、伝統工芸などの文化について調べてみよう。

現地学習

- ◎ 机浜番屋群で、漁師やお母さんとの体験活動（60～90分）

※人数が多い場合は、入替制で複数体験の実施も可能です。

事後学習

- ◎ 自分達の住む地域の街並み、風景、お祭り、伝統工芸などの文化を、次の世代に継承するには、どうしたら良いかを話し合いまとめてみよう。

受入概要

	漁師の塩づくり体験	番屋料理体験	番屋群漁師ガイド
受入人数	2～20名	2～20名	2～40名
実施時期	通年	通年	通年
受入時間	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00
所要時間	通常コース60分	90分	90分
料金	2,750円	2,750円	1団体13,200円
バス駐車場	有り・無料	有り・無料	有り・無料
備考	持帰り可	食事代含む	

問合せ先

NPO法人

体験村・たのはたネットワーク

〈担当〉楠田 拓郎

〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉年末年始

〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10

TEL.0194-37-1211 FAX.0194-33-3355 Mail: taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp

自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

まちづくり

防災と復興

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア

学ぶ防災 津波遺構たろう観光ホテル ～もの言わぬ語り部として～

全体
200名
程度



東日本大震災の甚大な被害を風化させることなく、後世に伝えるために保存された「津波遺構たろう観光ホテル」。ホテル内部への立ち入り、6階客室から撮影した眼前に迫る津波映像の視聴は学ぶ防災参加者限定です。



プログラム内容

1896年、1933年と過去に2つの大きな津波で甚大な被害を被った宮古市田老地区。人々は、命を守る為に総延長2,433m・高さ10mの防潮堤を造り、津波から命を守る術を後世に伝える為に碑を建立し「つなみでんでこ」という言葉で自助の精神を継承してきました。しかし、東日本大震災では守ってくれと信じた防潮堤を津波は軽々と超え、死者行方不明者181人の犠牲が出ました。防潮堤に上って田老地区の現状や震災当時の状況説明後、津波遺構「たろう観光ホテル」では、死を覚悟しながら眼前に迫る津波を撮影した映像を撮影者と同じ位置から体感します。震災後に高さ14.7mの防潮堤が建設された今でも「たろう観光ホテル」は、もの言わぬ語り部として未来に震災の記憶・教訓を伝えています。この建物を長期保存するために、宮古市では寄付金を募っています。本プログラムでは、自然災害に対する備え、自助・共助・公助のあり方、津波遺構の保存のあり方について考えます。



防潮堤に上ってガイドが説明



津波遺構たろう観光ホテル



ホテル6階でDVD映像で震災を体験

新設された防潮堤
(高さ14.7m)

SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット」

- ゴール4(ターゲット 4.7)・・・震災当時の説明、津波遺構、DVDの映像を通して防災教育の普及に努める。
- ゴール8(ターゲット 8.9)・・・震災学習の受入により雇用創出、にぎわい創出につながる持続可能な観光業を促進する。
- ゴール11(ターゲット 11.5)・・・防災教育、防潮堤の設置、住宅地のかさ上げにより津波による死者数、被害者数減に努める。



事前学習

- ◎ 自分達の住む地域のハザードマップを確認してみよう。
- ◎ 宮古市田老地区周辺の東日本大震災時の津波の高さと、現在の防潮堤の高さについて調べてみよう。



現地学習

- ◎ 防潮堤に上って田老地区の現状や震災当時の状況説明
- ◎ 津波遺構「たろう観光ホテル」へ移動
- ◎ 震災時「たろう観光ホテル」6Fで撮影された映像DVD鑑賞。

※防災エコツアー体験の場合は、実際に避難路を歩いたり、三陸ジョサイト(三王岩など)へご案内します。



事後学習

- ◎ 自分達の住む地域で想定される災害から命を守る為に、自助、共助、公助の観点でどうすれば良いかグループで話し合いまとめてみよう。
- ◎ 津波遺構を保存すべきか否か、保存する場合の維持管理費はどうすべきか、グループで話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	1名～200名
実施時期	通年
受入時間	4月～10月9:00～16:00・11月～3月9:00～15:30
所要時間	基本60分
料金	ガイド1名6,000円(バス1台)
バス駐車場	有り・無料
備考	防災エコツアー体験は、90～120分ガイド料金12,000円

問合せ先

(一社)宮古観光文化交流協会
たろう潮里ステーション

〈担当〉元田 久美子

〒027-0307 岩手県宮古市田老2丁目5-1
TEL.0193-77-3305 FAX.0193-65-7501
Mail:kumiko@kankou385.jp

〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉年末年始





村を守った『奇跡の水門』

～元村長は答えのない問いにどう向き合った？～

全体

160名
程度



いつくるかわからない津波、その備えにどれぐらいの規模でいくら費用をかけて建設するかについて、行政と住民の意見が異なる中、正解がないこの問いに元村長は、どう向き合ったのかを体感することができます。東日本大震災の記憶の風化が進む中、伝承のあり方についても新しい視点を得ることができます。

プログラム内容

東日本大震災において高さ20mを超える津波が押し寄せた普代村。元村長が反対がある中、住民を説得してやり遂げ建設した普代水門。太田名部防潮堤と合わせた2つの砦で、大津波から集落と村民の命を守りました。10m前後の高さが一般的であった中で、東北一の高さ15.5mを誇る普代水門は震災後に奇跡の水門と称されるように。震災の風化が進む中、水門を題材したアニメDVDや、大学生からの提案を基に制作した絵本を子供たちへの伝承手段として活用。本プログラムでは、普代水門・太田名部防潮堤をガイドと巡り、住民と行政との合意形成への考え方、困難な課題に対する強い決断力と行動力の原点、さらには当時に見る持続可能なまちづくりのあり方や、災害を未来にどう伝承するかについて考えます。



訪問地の地形を確認してみよう

Google Map[®]は、Google LLCの商標です。



15.5m東北一の高さを誇る普代水門



15.5mの太田名部防潮堤



東日本大震災津波伝承絵本『普代村を守った奇跡の水門』

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット4.7）・・・災害の伝承を通して、持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする。
- ゴール11（ターゲット11.5）・・・水門、防潮堤等により災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす。
- ゴール17ターゲット17.17）・・・防災施設やまちづくりのあり方を通して、公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進する。



事前学習

- ◎ 自分の住む地域のハザードマップを確認してみよう。
- ◎ Google Map等で訪問先の地形を確認してみよう。
- ◎ 津波被害を抑止するための構造物とその役割について調べてみよう。

＜参考図書＞

東日本大震災津波伝承絵本『普代村を守った奇跡の水門』



現地学習

- ◎ 普代水門建設の経緯について（アニメDVD30分）
- ◎ ガイドと共に、普代水門・太田名部防潮堤を見学（30～60分）
- ◎ 津波伝承絵本『奇跡の水門』について（15分）

※震災遺構 明戸海岸防潮堤（隣の田野畑村）を訪問することにより、地域の防災への考え方を対比することも可能。



事後学習

- ◎ 自分達の住む地域の防災施設をはじめとする施設建設のあり方やまちづくりのあり方について、グループで話し合いまとめてみよう。
- ◎ 災害の伝承方法について、年代や体の不自由な方も考慮してグループで話し合いまとめてみよう。

受入概要

受入人数	20名～160名程度
実施時期	通年（年末年始を除く）
受入時間	9時～16時
所要時間	約90分（調整可能）
料金	ガイド1名当り15,000円
バス駐車場	有り・無料
備考	アニメDVD津波伝承絵本は事前学習での対応可能。5クラス以上は、ローテーションで受入可能。

問合せ先

普代村観光協会



〈担当〉事務局 前川 正樹
〒028-8332 岩手県下閉伊郡普代村9-13-2
TEL.0194-35-2115 FAX.0194-35-3661
Mail: m-masaki@vill.fudai.iwate.jp

〈営業時間〉8:30～17:00
〈休業日〉年末年始

自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

まちづくり
防災と復興

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア



選択
40名

一戸町観光天文台 ～星と風の高原で学ぶ、星空環境とSDGs～

日中
プログラム

プログラム 内容

観測室・プラネタリウム等の天文台施設見学を通して、天文・宇宙や星空環境について理解を深めるプログラム。岩手県環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員を務める職員も在籍しており、環境学習の観点からのご案内も可能です。星が見えない！光害ってなに？エネルギーのむだ？星空という身近な題材からSDGsについて考えます。



一戸町観光天文台日中外観 直径50センチの反射望遠鏡



プラネタリウム

現地学習

- ◎ 天文台見学ツアー
観測室、プラネタリウム、施設案内職員がご案内いたします。



選択
40名

一戸町観光天文台 ～見上げて学ぶ、星空環境と惑星地球～

夜間
プログラム

プログラム 内容

観測設備による星空観察を通して、実際に全国屈指の星空を体感いただけます。屋外での星空案内では、身近な星空への街灯からの影響や都市光害の現状をみて、星空環境について理解を深めるプログラムです。ご要望により、宿泊施設等へ職員を派遣しての星空見学会の開催も可能です。



天文台周辺図
Google MapsTMは、Google LLCの商標です。



一戸町観光天文台夜間外観



星空のパノラマ

現地学習

- ◎ 天文台星空観察ツアー
天体観察（観測室）、星空案内（屋外）職員がご案内いたします。

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット4.7）・・・過剰照明により発生する光害に対する知識習得を支援する。
- ゴール8（ターゲット8.9）・・・全国屈指の星空を活用した持続可能な観光業を促進する。
- ゴール12（ターゲット12.8）・・・天文台の見学を通して、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルについて考える。

一戸町観光天文台が位置する〈高森高原〉とは・・・

標高668m 約500ヘクタール（東京ドーム約100個）にも及ぶ広大な牧草地で、牧歌的な風景が広がっています。高原からの見晴らしは勿論、夜見上げる空に瞬く満天の星は息を呑む美しさ。一戸町観光天文台は、この高森高原に位置しており 全国屈指の星空を誇る天文台です。

また、高森高原一帯には大型の風車11基からなる高森高原風力発電所があり 間近で見ることができます。



受入概要

受入人数	40名
実施時期	4月下旬～11月上旬（積雪状況により変更あり）
受入時間	団体の場合は要相談
所要時間	60～120分
料金	400円（中学生以上）
バス駐車場	3台（無料）
備考	夜間プログラム天体観察は、荒天時は施設見学やプラネタリウム鑑賞等に変更となります。また、宿泊施設等への職員の派遣希望の場合の費用は要相談。

問合せ先

一戸町観光天文台



〒028-5302 岩手県二戸郡一戸町女鹿字新田42-21
TEL.0195-33-1211
Mail: miacs@infoseek.jp

〈営業時間〉10:00～20:00
〈休業日〉冬期間11月中旬～4月中旬

[SDGs 該当番号]



盛岡手づくり村 ～天然藍染 手作り 教室～

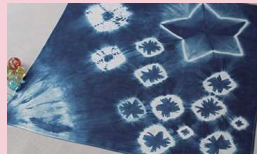
選択
20～30名

プログラム 内容

古からの染め技法である木灰水(あくみず)発酵建ての天然藍本染めを追求する「染谷たきうら」。盛岡手づくり村の店舗で、天然藍染の職人の技を間近に見て、本物に直に触れながら作り手と使い手が交流しながら藍染体験が可能です。藍染の特徴は、何と言っても化学染料では出せない自然でやわらかい風合い。衣類をはじめ、身近にある物がどのような素材で、どのように作られているかを知り、未来に向けて自分たちに何ができるか考えるきっかけとなることが作り手の願いです。



藍染体験の様子



完成品イメージ)

現地学習

- ◎ 天然藍染体験
ハンカチ・バンダナ、手拭、ストール
からお選び下さい。

SDGs「17の目標(ゴール)」と169のターゲット」

- ゴール6(ターゲット6.3)・・・化学染料に頼らない天然藍染により水質汚染を防止し、改善を図る。
- ゴール8(ターゲット8.9)・・・伝統工芸の振興、販売により持続可能な観光業を促進する。
- ゴール12(ターゲット12.4)・・・化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

受入概要

受入人数	20～30名制 作物により異なる)
実施時期	通年 年 末年始を除く、要問合せ)
受入時間	9:30～15:30
所要時間	60分
料金	2,000円～5,300円制 作物により異なる)
バス駐車場	10台 無料)
備考	他の体験教室と組み合わせることにより、学年 全体の受入も可能です。

問合せ先

盛岡手づくり村

〒020-0055 岩手県盛岡市繁字尾入野64-102
TEL.019-689-2201 FAX.019-689-2212
Mail: dantai@isop.ne.jp

〈営業時間〉8:40～17:00
〈休業日〉年末年始



[SDGs 該当番号]



盛岡さんさ踊り 体験

選択
80名
全体
200名
程度

会場:プラザおでって

プログラム 内容

盛岡の夏の風物詩、世界一の太鼓パレード「盛岡さんさ踊り」。地元の伝統芸能団体が講師となり、盛岡さんさ踊りを体験します。さんさ踊りの由来や衣裳、道具、踊りの掛け声の意味の説明や見本演舞の後、盛岡さんさ踊りの2番「七太くずし」を実際に踊り体験(足さばき、てさばき)。最後に全員で合わせ踊り、更にグループ別発表会を取り入れることも可能です。



盛岡さんさ踊りのストリート演舞
(東北絆まつり盛岡(2018,盛岡市中央通り))



盛岡さんさ踊り体験



伝統さんさ踊りの鑑賞

現地学習

- ◎ 盛岡さんさ踊り 体験学習
 - ◎ 伝統さんさ踊りの鑑賞
- 追加料金で鑑賞講座 45～60分 60,000円) 実施可能

SDGs「17の目標(ゴール)」と169のターゲット」

- ゴール8(ターゲット8.9)・・・さんさ踊りを継承することにより関係者の雇用を創出する。
- ゴール11(ターゲット11.4)・・・世界一の太鼓パレード「盛岡さんさ踊り」の文化継承の努力を強化する。

受入概要

受入人数	15～200名
実施時期	通年 年 末年始を除く)
受入時間	9:00～17:00
所要時間	45分～120分
料金	15～40名20,000円、41～80名30,000円 81～120名40,000円、121～200名50,000円
バス駐車場	有り(上の橋・中の橋P利用)、無料
備考	80名まではプラザおでってホールが会場会場費無料となります。 80名を超える場合は、他会場で会場費別途で実施可能。

問合せ先

(公財)盛岡観光 コンベンション 協会

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
プラザおでって4階
TEL.019-621-8800 FAX.019-653-4417
Mail: kankoug2@odette.or.jp

〈営業時間〉8:30～12:00/13:00～17:15
〈休業日〉第2火曜日、年末年始



自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづく

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア



班別
研修

盛岡ふるさとガイドとまち歩き

プログラム 内容

盛岡ふるさとガイドが、歩いて楽しむまち盛岡での班別自主研修をより充実したものにしてお手伝いします。先人・文化人ゆかりの名所や旧跡など、地元につながるエピソードを交えながら、更にはコースに応じてSDGsゴール考察のヒントなどご案内します。
ご案内するコースは、90分/6コースをご用意。テーマに合わせてお選び下さい。



90分コース

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| A 先人たちの青春 | D 城下町から近代洋風建築 |
| B 東北三大名城 盛岡城跡めぐり | E 町家と湧き水 |
| C 啄木・賢治であいめぐり | F 珠玉の街MORIOKA |

盛岡ふるさとガイドの皆さん

※コースの詳細については、以下のQRコードからご確認下さい。

🔍 現地学習

- ◎ 盛岡ふるさとガイドの案内で、盛岡市内を自主研修

SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.7）・・・ まち歩きガイドを通して、参加者の持続可能な開発を促進するための知識習得に寄与する。
- ゴール8（ターゲット 8.5）・・・ 盛岡ふるさとガイドを組織化することで、雇用と働きがいのある仕事を確保する。
- ゴール17（ターゲット 17.17）・・・ 盛岡ふるさとガイドを組織化することで公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進する。

受入概要

受入人数	ガイド1名につき10名まで
実施時期	通年(第2火曜日、年末年始を除く)
受入時間	出発時間 9:30～14:00
所要時間	90分
料金	ガイド1名につき3,500円
バス駐車場	有り(上の橋P・中の橋P利用)無料
備考	第2火曜日が祝日の場合翌日が休業日となります。冬季は路面凍結によりお断りする場合があります。

問合せ先

(公財)盛岡観光 コンベンション協会



〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10-2階
観光文化情報プラザ
TEL.019-604-3305 FAX.019-653-4422
Mail:kankoug@odette.or.jp
〈営業時間〉8:30～12:00/13:00～17:15
〈休業日〉第2火曜日、年末年始



班別
研修

まち歩きで盛岡の偉人に学ぶ

プログラム 内容

原敬、新渡戸稲造、石川啄木、宮沢賢治など多くの偉人を輩出している盛岡。そして、それら偉人の像が建てられ後世にその功績を語り継いでいます。事前学習等で盛岡の歴史や盛岡にゆかりのある歴史上の人物の生涯について調べ、関連する施設等を訪問することにより、なりたい将来像や持続可能な未来に向けて自分たちがどのように行動すべきかを考えます。



原敬先生像



新渡戸稲造銅像



啄木新婚の家外観

🔍 現地学習

- ◎ 班別研修で盛岡が輩出した偉人の関連施設を訪問

SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.7）・・・ 偉人の功績を学ぶことにより持続可能な開発を促進するために必要な知識を習得する。

偉人の像 (抜粋)

	原敬先生像	新渡戸稲造銅像	少年啄木像	宮沢賢治のモニュメント
アクセス	でんでんむし県庁市役所前」下車すぐ(岩手県公会堂前)	でんでんむし盛岡バスセンター」下車徒歩約11分下の橋そば)	でんでんむし 中央通2丁目」下車徒歩約3分大通商店街内)	でんでんむし「材木町南口すぐ(イーハトーブアベニュー材木町内)
実施時期	啄木新婚の家TEL.019-624-2193)	盛岡市先人記念館TEL.019-659-3338)	原敬記念館TEL.019-636-1192)	
受入時間	通年4月～11月火曜日、12月～3月火・水・木曜日及び年末年始)	通年月曜日※1毎月最終火曜日及び年末年始)	通年月曜日※1)及び年末年始)	
料金	9:00～17:00(4～11月)10:00～16:00(12～3月)	9:00～17:00	9:00～17:00	
アクセス	無料	小中学生100円、高校生200円	小中学生50円、高校生200円	
備考	でんでんむし「啄木新婚の家口」下車すぐ	岩手県交通盛岡駅前200「県立美術館前」下車徒歩約5分※2)	岩手県交通盛岡駅前200「原敬記念館前」下車徒歩約5分※2)	(※1)月曜日が祝日の場合は翌平日 (※2)盛岡駅西口マリオス前から徒歩約30分タクシー約分

関連施設 (抜粋)

[SDGs 該当番号]



まち歩きで学ぶ盛岡の文化財

班別
研修

プログラム 内容

盛岡のまちなかには国指定重要文化財である「岩手銀行旧本店本館(岩手銀行赤レンガ館)」や「旧第九十銀行本店本館(もりおか啄木 賢治青春館)」国指定重要美術品「青銅擬宝珠(上の橋擬宝珠)」をはじめ多くの文化財等が現存し、保護するだけでなく地域振興やまちづくり等に活用されています。まち歩きを通じて、持続可能な社会のあり方について考えます。



岩手銀行旧本店本館
(岩手銀行赤レンガ館)



旧第九十銀行本店本館
(もりおか啄木 賢治青春館)



青銅擬宝珠
(上の橋擬宝珠)



◎ 班別研修で盛岡の文化財めぐり

SDGs「17の目標(ゴール)」と169のターゲット」

- ゴール8(ターゲット8.9)・・・国指定文化財等を活用して持続可能な観光業を促進する。
- ゴール11(ターゲット11.4)・・・国指定文化財等の保護・保全の努力を強化する。

	岩手銀行赤レンガ館	もりおか啄木・賢治青春館
実施時期	通年火曜日、年末年始を除く	通年第2火曜日、年末年始を除く
受入時間	10:00～17:00	10:00～18:00(最終入場17:30)
料金	小中学生 100円(※)	無料 企画展により2階展示ホールのみ有料の場合があります。
バス駐車場	盛岡バスセンターより徒歩1分	盛岡バスセンターより徒歩3分
備考	※高校生 300円	第2火曜日が祝日の場合、その翌日が休業日となります

岩手銀行赤レンガ館

〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目2番20号
TEL.019-622-1236 FAX.019-622-1239

問合せ先

もりおか啄木・賢治青春館

〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL&FAX.019-604-8900

[SDGs 該当番号]



もりおか町家物語館 ～歴史的建造物の保存・利活用について考える～

班別
研修

プログラム 内容

もりおか町家物語館は、盛岡市の保存建造物である「浜藤の酒蔵」などを改修し、2014年開館しました。江戸から明治期に北上川舟運の起点として大いに賑わった名残が残る盛岡町家の歴史的な景観を守ろうと市民が立ち上がったことが、この施設開業に大きく影響しています。歴史的建造物の時代に合わせた保存・利活用について考えます。



もりおか町家物語館(母屋)



浜藤の酒蔵
(店舗やホールに改修し活用)



盛岡町家づくりの特徴
吹き抜けの常居・階段筆箒



◎ もりおか町家物語館の見学
(現地ガイドに関しては要相談)

【関連プログラム】P10 まち歩きで学ぶ盛岡の水
～大切に使われ今に残る共同井戸～

SDGs「17の目標(ゴール)」と169のターゲット」

- ゴール8(ターゲット8.9)・・・盛岡町家を利活用することにより、雇用創出・文化振興等に繋げ持続可能な観光業を促進する。
- ゴール11(ターゲット11.4)・・・歴史的建造物等の保護・保全、何を残すか、なぜ残すのか、どう残すのかについて考える。
- ゴール17(ターゲット17.17)・・・公的、官民、地域それぞれの役割と連携について考える。

受入概要

実施時期	通年(第4火曜日、年末年始を除く)
受入時間	出発時間 9:30～14:00
所要時間	30～60分
料金	無料2階大正蔵の企画展は有料の場合あり
アクセス	盛岡バスセンターより徒歩15分
備考	第4火曜日が祝日の場合、翌日が休業日となります。

問合せ先

もりおか町家物語館



〒020-0827 岩手県盛岡市鉾屋町10-8
TEL.019-654-2911 FAX.019-654-2913
Mail:machiya@iwate-arts.jp
〈営業時間〉9:00～19:00(最終入場17:30)
〈休業日〉第4火曜日、年末年始

自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北リ

県央
リア

沿岸
リア



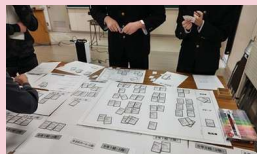
防災講演と避難所運営ゲーム ～学校が避難所になったら～

プログラム 内容

盛岡市内でできる防災学習。東日本大震災の地震・津波を経験した「語り部」による防災講演と、盛岡市でさまざまな復興・防災活動をしている団体（一社）SAVE IWATEによる避難所運営ゲームHUG（※1）を通して、災害避難に対する適応能力（生き延びる力）を強化し、命の大切さ、パートナーシップの大切さを学び、防災意識向上を目指します。（※1）静岡県が開発した図上訓練。HUGはH（hinanjo 避難所）「U（uneい運営）」「G（gameゲーム）」の頭文字。



防災講演



避難所運営ゲームの様子



避難所イメージ

現地学習

- ◎ 防災講演 60分
- ◎ 避難所運営ゲーム「学校が避難所になったら」を体験（90分）

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.7）・・・防災講演を通して防災教育の普及に努める。
- ゴール11（ターゲット 11.5）・・・防災講演・避難所運営ゲームを通して、災害による死者数・被害者数減に努める。
- ゴール17（ターゲット 17.17）・・・公的、官民、市民社会のパートナーシップによる避難所運営により2次災害の防止に努める。

受入概要

受入人数	6～35名
実施時期	通年（第2火曜日、年末年始を除く）
受入時間	9:30～17:00
所要時間	2時間30分
料金	6～14名まで 1団体 16,000円（※2）2,000円 15～25名まで 1団体 18,000円（※2）4,000円 26～35名 1団体 20,000円（※2）5,000円
バス駐車場	有り（上の橋P・中の橋P利用）無 料
備考	（※2）事前学習で作成する避難所運営ゲーム用見取り図を当協会が用意した場合の費用。 第2火曜日が祝日の場合、その翌日が休業日となります。

問合せ先

（公財）盛岡観光 コンベンション 協会



〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
プラザおでって4階
TEL.019-621-8800 FAX.019-653-4417
Mail: kankoug2@odette.or.jp
〈営業時間〉8:30～12:00/13:00～17:15
〈休業日〉第2火曜日、年末年始



盛岡のキラリと光るものづくり講話 ～盛岡の伝統を受け継ぐ職人から学ぶ～

プログラム 内容

盛岡の伝統を受け継いできた方々（職人）によるキャリア講話。伝統工芸・名物南部鉄器、さんさ太鼓、漆、染物（南部古代型染、紫紺染め、茜染め等）、南部せんべい、わんこそば、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃめん、酒造、りんご等から講師をお選び下さい。ご要望により盛岡の歴史や旧町名、先人、建物などについて、行政や住民たちがどう関わってまちを形成してきたのか、保存にどう関わっているのか等を学ぶ盛岡のまちづくり講話も可能です。



伝統を守る職人



キャリア講話の様子
（南部鉄器）

現地学習

- ◎ キャリア講話 約50分

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.4）・・・キャリア講話を通して、働きがいのある人間らしい仕事に必要な考えを習得する。
- ゴール8（ターゲット 8.9）・・・キャリア講話を通して、地域に伝承された文化の振興や産品への興味・感心・販促に繋げる。

受入概要

受入人数	200名
実施時期	通年（第2火曜日、年末年始を除く）
受入時間	9:00～17:00
所要時間	約50分
料金	講師1名 16,500円
バス駐車場	有り（上の橋P・中の橋P利用）無 料
備考	第2火曜日が祝日の場合、その翌日が休業日となります。

問合せ先

（公財）盛岡観光 コンベンション 協会



〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
プラザおでって4階
TEL.019-621-8800 FAX.019-653-4417
Mail: kankoug2@odette.or.jp
〈営業時間〉8:30～12:00/13:00～17:15
〈休業日〉第2火曜日、年末年始

[SDGs 該当番号]



プロから持続可能な農業を学ぶ

選択
30名

プログラム 内容

岩手町では、家畜の糞尿などの廃棄物を有機資源として活用した農産物を再び家畜の育成に還元し、町内で資源が循環する「循環型農業」を実践しています。また、担い手不足解消・効率化のためにドローンや無人トラクターを活用「うちの農場は財宝だ」そう豪語するほどに土づくりからこだわりを持って農作物を生産している農業のプロから、これらの取り組みをはじめとする持続可能な農業について学びます。



たわわに実った稲穂



廃棄物を肥料に活用



ドローンなどのIT技術を活用



現地学習

- ◎ 圃場で岩手町の農業について説明
- ◎ ドローンを活用する様子を見学

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール2（ターゲット 2.4）・・・有機資源を活用し土地・土壌の質を改善し、持続可能な食料生産システムを確保する。
- ゴール9（ターゲット 9.1）・・・担い手不足解消や業務効率化に向け、ドローン・無人トラクター等の先端技術を積極活用する。
- ゴール12（ターゲット 12.8）・・・視察を通じて、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報を提供する。

受入概要

受入人数	30名
実施時期	9月～10月
受入時間	8:30～17:15
所要時間	60～90分
料金	1団体 15,000円
バス駐車場	有り、無料
備考	

問合せ先

岩手町役場企画商工課 （教育旅行相談窓口）



〒028-4307 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-44
TEL.0195-62-2111 FAX.0195-62-2073
Mail: kikaku-2@town.iwate.iwate.jp

〈営業時間〉8:30～17:15
〈休業日〉土日・祝日・年末年始

[SDGs 該当番号]



鞍掛山動植物観察ハイキング

選択
要相談

プログラム 内容

宮沢賢治が名付けた「イーハトーブ」の自然風景を連想させる岩手県内7ヶ所からなる国指定名勝のひとつ鞍掛山。岩手山の南麓に位置しその標高は897m、山頂からは雄大な岩手山をご覧いただけます。ガイドと共にハイキングしながら、多様な植物と外来植物の侵入状況を実際に確認し、あるべき生態系について考えるプログラムです。



鞍掛山山頂



ハイキングの様子



カタクリの花



現地学習

- ◎ ガイドと共に鞍掛山をハイキング

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.7）・・・山地、森林の生態系を学び持続可能な開発を促進するために必要な知識を習得する。
- ゴール6（ターゲット 6.6）・・・山地、森林、河川などの水に関連する生態系を保護・回復する。

受入概要

受入人数	要相談
実施時期	通年 ※
受入時間	要相談
所要時間	180分
料金	要相談
バス駐車場	有り、無料
備考	（※）冬期間は、十分な装備が必要です。

問合せ先

一般社団法人 滝沢市観光物産協会



〒020-0665 岩手県滝沢市下鶴飼1-15
ビッグルーフ滝沢内
TEL.019-601-6327 FAX.019-601-6328
Mail: info@takizawa-kankou.jp

〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉第2、4火曜日、年末年始

自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北エリア

県央エリア

沿岸エリア



選択

30名

岩泉ホールディングス株式会社

～岩泉ホールディングスで学ぶSDGs～

プログラム
内容

岩泉ホールディングスでは「自然との調和・本物の追及を旨とし地域経済の発展と社会の福祉に貢献する」という経営理念のもと、岩泉町の資源を活用して町の振興に取り組んでいます。この事業活動をどのように社会貢献につなげているか、実例をあげて紹介します。



工場外観



工場見学



主な商品

現地学習

- ◎ 岩泉ヨーグルト工場見学 30分
- ◎ SDGs取組の講義 30分

※15名以上の場合は、上記を入替性でご案内いたします。

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット 4.7）・・・企業活動を通じて、未来の地域の担い手である子どもたちの教育を支援する。
- ゴール6（ターゲット 6.b）・・・岩泉町の恵みを生かした商品を非常時に活用し、自然の恩恵を還元する。
- ゴール11（ターゲット 11.a）・・・交流人口の拠点を活性化させ、地域経済の発展に寄与する。

受入概要

受入人数	30名 工場見学は1回15名)
実施時期	通年
受入時間	8:30～17:30
所要時間	60分
料金	体験内容による
バス駐車場	2台無料)
備考	製造作業が終了している場合がありますので、事前にご確認下さい。

問合せ先

岩泉ホールディングス
株式会社

〒027-0502 岩手県下閉伊郡岩泉町乙茂字大向23-2
TEL.0194-32-3008 FAX.0194-32-3009
Mail: info@iwaizumilk.co.jp

〈営業時間〉8:30～17:30
〈休業日〉年末年始

選択

40名

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム

～Made in 地元！堅穴住居はすべて自然素材！～

プログラム
内容

縄文人たちが住んでいた堅穴住居。材料は全て地元の自然素材。ムラの近くから木材等の材料を調達し、木を切る道具として石斧を開発、そしてムラ人総出で堅穴住居を作っていました。鉄もプラスチックも使わない堅穴住居から、自然と人のつながりについて考えます。



ミュージアム外観



堅穴住居



石斧体験

現地学習

- ◎ 学芸員による館内及び公園内の解説
- ◎ 石斧体験

SDGsにつながるヒント

- 【01】国指定の史跡を守る 人類のかけがいのない宝をこれからも守っていく施設管理。
 【02】地域のコミュニティも大切に ミュージアムと市の出先機関や公民館が併設された複合施設。
 【03】定住生活、争いのない社会のために ミュージアム・縄文の森公園に残る縄文人から現代人へのメッセージ。

受入概要

受入人数	40名
実施時期	通年 月曜日・毎月月末平日（休館）
受入時間	9:00～17:00
所要時間	60～90分
料金	無料
バス駐車場	6台無料)
備考	月曜日が祝日の場合翌平日が休館。

問合せ先

宮古市崎山貝塚
縄文の森ミュージアム

〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1
TEL.0193-65-7526 FAX.0193-65-7508
Mail: bnka@city.miyako.iwate.jp

〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉月曜日（祝日の場合はその翌平日）年 年末年始
毎月月末平日

[SDGs 該当番号]



NPO法人体験村・たのはたネットワーク ～サッパ船アドベンチャーズ～

 選択
38名

プログラム 内容

三陸復興国立公園を代表する景勝地「北山崎」を有する田野畑村で、絶景の中がまれてきた漁業を、地元漁師の船に乗って体験できるプログラム「サッパ船アドベンチャーズ」。サッパ船(小型船)が、断崖絶壁や奇岩怪石のすぐ近くを航海するドキドキ感、定置網や養殖現場などの漁場や漁師とのふれあいを通じ、一次産業としての漁業の理解を深めることができるプログラムです。



サッパ船に乗って出発



断崖絶壁を間近に



漁師とのふれあいも魅力の一つ

現地学習

- ◎ サッパ船乗船体験。
三陸の大海原・景勝地「北山崎」を眺めながら奇岩怪石をくぐり抜けるドキドキのクルージング体験。

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール8(ターゲット8.9) … 漁業の観光利用により、雇用創出・地域の漁業文化継承に寄与する。
- ゴール13(ターゲット13.3) … 温暖化による海水温の変化、漁獲魚種の変化の影響軽減に向けた教育・啓発に努める。
- ゴール14(ターゲット14.1) … 海洋環境保全に向け、ゴミを出さない、見つけたら拾う等により海洋汚染の防止や削減に努める。

受入概要

受入人数	38名
実施時期	通年(年末年始を除く)
受入時間	9:00～17:00
所要時間	60～120分
料金	2,750円
バス駐車場	10台(無料)
備考	1船7～8名乗船、最大5船まで同時運航可能。

NPO法人体験村・たのはたネットワーク



問合せ先

〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター
TEL.0194-37-1211 FAX.0194-33-3355
Mail: taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
〈営業時間〉9:00～17:00
〈休業日〉年末年始

[SDGs 該当番号]



やまだワンダフル体験ビューロー ～マリンツーリズム山田～

 選択
4～40名

プログラム 内容

湾口から少し入ったところが細くすばまった巾着のような形をした山田湾。この独特の地形は、外洋の影響を受けにくく、養殖に適した地とされています。山田湾に無数に浮かぶ牡蠣とホタテの養殖いかだ。漁師の案内のもと、船で養殖いかだに行き牡蠣やホタテがどのように育てられているかを間近で見学。養殖漁業で出る貝殻の処分方法についても学習します。



養殖に適した地形の山田湾
Google Maps™は、Google LLCの商標です。



養殖いかだの様子



養殖の牡蠣を間近で

現地学習

- ◎ 漁師と一緒に船で養殖いかだ見学
 - ◎ 貝殻の処分方法について
- ※人数が多い場合は、時間差をつけてのご案内となります。

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール2(ターゲット2.4) … 養殖漁業により持続可能な食料生産システムを確保する。
- ゴール12(ターゲット12.4) … 牡蠣やホタテの貝殻を環境衛生上適切に管理・廃棄する。
- ゴール14(ターゲット14.1) … 海洋環境保全に向け、ゴミを出さない、見つけたら拾う等により海洋汚染の防止や削減に努める。

受入概要

受入人数	4～40名
実施時期	通年
受入時間	8:30～17:00
所要時間	約60分
料金	2,000円
バス駐車場	有り、無料
備考	荒天の場合は、代替プランでのご案内となります。通年で受入しますが、冬季期間中でも寒いので防寒対策をしっかりとってお越し下さい。

問合せ先

山田町観光協会



〒028-1311 岩手県下閉伊郡山田町大沢
第2地割1番地6
TEL.0193-65-7901 FAX.0193-65-7902
Mail: info@yamada-tc.org

〈営業時間〉8:30～17:00
〈休業日〉水曜日・年末年始

自然の恵みを生かす

持続可能な産業

持続可能な生き方

防災と復興まちづくり

県北リ

県央リ

沿岸リ

盛岡広域エリア SDGs教育旅行 プログラム



2023年12月発行

発行元 盛岡広域振興局

問合せ 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1
TEL.019-629-6512 / FAX.019-629-6529
[Email.BA0001@pref.iwate.jp](mailto:BA0001@pref.iwate.jp)

- 本誌掲載データは、2023年12月現在のものです。内容は、予告なく変更される場合もあります。各プログラムの内容のご確認、ご相談は誌面に掲載のお問い合わせ先へご連絡ください。休業日(休館日)は年末年始、ゴールデンウィーク・お盆休みを省略している場合もあります。
- 本書の全部または一部を無断で複写・複製することは、著作権法に基づいて禁じられています。また、写真はすべてイメージであり実物とは異なる場合があります。
- 本書に掲載のSDGsロゴの使用については、国連の承認を受けております。本書の内容は、国連やその関係者、加盟国の見解を反映するものではありません。国連の「持続可能な開発目標」については、以下のウェブサイトをご確認ください。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>